



2023.4.16

★★ LV.2

政治

出典 (朝日中高生新聞)

維新、大阪府・市と奈良県首長選制す 統一地方選 県議選でも議席伸ばす

第20回統一地方選挙の前半戦が9日、投開票された。大阪府知事と大阪市長のダブル選挙では地域政党・大阪維新の会がいずれも勝利。奈良県知事選挙でも国政政党の日本維新の会が制し、大阪以外で初の公認首長を誕生させた。

大阪ダブル選挙は、大阪府知事選挙で現職の吉村洋文氏(47)が再選を決め、大阪市長選挙では前府議会議員の横山英幸氏(41)が初当選した。6人が争った奈良県知事選挙は、維新の新顔で元同県生駒市長の山下真氏(54)が初当選を決めた。

北海道知事選挙では鈴木直道氏(42)が再選した。徳島県知事選挙は、前自民党衆議院議員の後藤田正純氏(53)が初当選。大分県知事選挙は、前大分市長の佐藤樹一郎氏(65)が当選した。

41道府県議会議員選挙では、日本維新の会が各地で議席を伸ばした。自民党、公明党は前回2019年並みの議席を維持。立憲民主党は議席を増やし、共産党、国民民主党は議席を減らした。

●女性の当選者最多、でも割合は14%

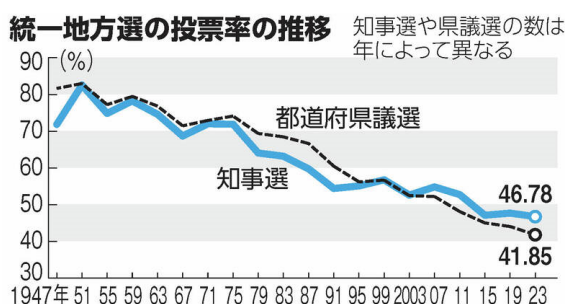
道府県議会議員選挙で女性の当選者は316人、定数(2260)に占める割合は14.0%と、いずれも過去最多を更新した。だが、人口比と同じ男女均等にはほど遠い。

●4人に1人が無投票で当選

全体の4割弱に上る348選挙区で、4人に1人にあたる565人が投票を経ずに当選を決めた。無投票だった選挙区と当選者の割合はいずれも過去2番目の高さだった。

●投票率平均は戦後最低

投票率の平均は、9道府県知事選挙が46.78%、41道府県議会議員選挙では41.85%。どちらも戦後最も低い結果となった。



奈良知事選で当選した山下真氏 = 9日、奈良市 ©朝日新聞社

41道府県議選 党派別当選者数

党派	当選者	前回
自民	1153	1158
立憲	185	118
維新	69	16
公明	169	166
共産	75	99
国民	31	83
れいわ	0	—
社民	3	22
政女	—	—
参政	4	—
諸派	78	79
大阪維新	55	51
無所属	493	536
合計	2260	2277



統一地方選挙の後半戦は 23 日に投開票。同じ日には、参議院大分選挙区と、衆議院の 4 選挙区の補欠選挙も投開票される。

■今年の統一地方選挙（第 20 回）

4 月 9 日投開票

- ・ 9 道府県の知事選
- ・ 6 政令指定市の市長選
- ・ 41 道府県の県議選
- ・ 17 政令指定市の市議選

4 月 23 日投開票

- ・ 一般市の市長選、市議選
- ・ 東京都の区長選、区議選
- ・ 町村長選、町村議選

※国会議員の補欠選挙も 23 日

- ・ 参議院大分選挙区
- ・ 衆議院千葉 5 区、和歌山 1 区、山口 2 区、山口 4 区



2023.4.16



出典（朝日中高生新聞）

維新、大阪府・市と奈良県首長選制す

統一地方選 県議選でも議席伸ばす

[知識]

統一地方選挙

地域政党

国政政党

[読解]

問 1. 2023 年の統一地方選挙前半戦で、日本維新の会が初めて議席を獲得した首長はどここの県ですか？

問 2. 2023 年の統一地方選挙前半戦の道府県議会議員選挙で、議席数を増やした政党をあげましょう。

問 3. 今回の道府県議会議員選挙で、無投票で当選が決まった立候補者は何人いましたか？

[思考]

今回の統一地方選挙前半戦では、女性の当選者は 316 人と過去最多を更新しました。

それでも人口比と比べるとあまりに少ない数であることは明らかです。

政治における男女均等を実現するためには、どのような施策が有効だと思いますか？

最も有効だと思う策をあげ、400 字 3 段落でまとめましょう。